

【足立先生提出資料】

シエラレオネにおける治療状況の概要

- 致死率：公式報告（34%）と実際（50-60%?）の乖離
- 治療内容：基本はWHO Pocket Guideの通り
- 軽症例は経口補液、重症例は経静脈輸液
- 頻用薬剤
 - － 次亜塩素酸消毒液
 - － 経口補液（ORS）
 - － 乳酸加リンゲル液
 - － 解熱鎮痛薬（アセトアミノフェン）
 - － 消化管粘膜保護剤
 - － 痛みが強い例にはオピオイド
 - － マラリア治療薬
 - － 広域抗菌薬（注射・経口）
- 診療要員が決定的に足りない
 - － 小児や妊婦に対する特別対応はない
 - － 輸液バッグを交換するスタッフがいらない
 - － 輸血は考慮の対象外
 - － 呼吸が止まったらそれまで
 - － 診療録の記載は入退院時のみ。経過記録は白紙

